

2020 年度文部科学省・日本人学校教育環境整備事業

「ICT を活用した教育体制構築に関する実証事業」

講評

評価者： 見世 千賀子
東京学芸大学
国際教育センター 准教授

学校名

釜山日本人学校

キーワード

オンライン授業のための環境整備、Zoom を活用したオンライン授業、他校とのオンライン交流

講評

釜山日本人学校の取り組みは、小規模校で、これまでオンライン授業を実施する環境が十分に整ってなかった学校でも、どのように体制を整えてオンライン授業や交流活動を行えばよいのか、参考にしやすい取り組み、報告となっています。

まず、オンライン授業のための環境整備では、派遣教員 8 名のうち 2 名が日本待機中でのオンライン授業用の時間割づくり、各教室の ICT 環境の整備と LAN 回線が来ていない教室のための WiFi ルーター等の準備、保護者との連絡・家庭の ICT 環境の確認、デジタル教科書の準備、Zoom での入学式、着任式、始業式等について、4 月からの具体的な手順が報告されており、参考になると思います。

次に、Zoom を活用したオンライン授業の実際として、各学年、教科等の授業の具体的例が写真と共に紹介されており、とてもわかりやすいです。例えば、日本人学校に入学して初めての学習をオンラインで始める 1 年生ならではの学習指導、生活指導の難しさと工夫は、他校の先生方にも共感をもって受け入れられ、参考になるでしょう。国語や算数・数学の授業に加えて、小学部高学年の理科の気象や植物・メダカの観察、物の燃え方の実験等のオンライン授業も極めて興味深い報告となっています。

また、コロナの影響で本来行うはずの交流ができなかったことによって実施された、ソウル、および、イスラマバード日本人学校とのオンライン交流も、事前準備から当日の交流の様子まで紹介されており参考にしやすく、また、子供の感想から、結果としてとても意義深いものになったことが伝わってきます。この交流によって、教師のネットワークができたことも副産物としてあげられます。

最後に、報告書の書き方も非常に丁寧でわかりやすくまとめられており、参考になると思います。